

ともしび ブダより

第88号



社会福祉法人 依田窪福社会

事業別連絡先一覧

- | | | | |
|---|----------|-----------------------------------|----------|
| ●法人本部
[E-mail] info@yodakubofukushikai.jp
[U R L] http://www.yodakubofukushikai.jp/ | ☎85-2202 | ●デイサービスセンター 長門 | ☎68-0226 |
| | | ●小規模多機能型居宅介護 大門の家 | ☎41-2123 |
| ●依田窪特別養護老人ホーム
●短期入所生活介護事業 | ☎85-2218 | ●デイサービスセンター 和田 | ☎88-0077 |
| ●依田窪福社会居宅介護支援事業
●相談支援事業 花もも | ☎85-2047 | ●高齢者生活福祉センター
●配食サービス事業 あやちゃん弁当 | |
| ●ヘルパーステーションこすもす | ☎85-0098 | ●グループホーム和田 | ☎88-0088 |
| ●寄り合い処 からさわ | ☎85-2218 | ●デイサービスセンター橋場なごみや | |

コロナ禍のもと 使命感・責任感を認識し仕事をしていきます



理事長

渡邊 和美

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和2年の年明けから、新型コロナウイルス感染症が日本はもとより世界中に蔓延し、私たちの生活様式・社会構造が大きく変化しています。日々、「3密」を考えながら、そして緊張しながらの生活が今後も続いていくものと思われ、マスク着用、手洗い・手指消毒を徹底するとともに、毎日の健康チェックを欠かさず行うなどして、毎日を過ごしていただきたいと思います。高齢者など重症化リスクが高い方は、特にご留意していただきたいと思います。

この感染拡大は、依田窪福祉会を利用されている利用者、その家族、職員を含め、法人経営及び運営にも変化をもたらしています。

変化の1つとして、介護という事業は一方的に一律に休止・休業することはできません。携わる職員は、テレワーク等在宅勤務ができない最前線の現場で、ご利用者に対して365日緊張感を持ちながら真摯に向き合い、今まで以上に、仕事に対する使命感、責任感を認識し仕事をしています。

変化の2つとして、前述のように介護は継続性をもった法人経営をしていく使命があります。いわゆる、「With コロナ」で新型コロナウイルスと共存していくという認識と覚悟をもった経営をしています。

変化の3つとして、会議については対面会議から書面による決裁方式に、各種研修会等はデジタル化(情報通信技術)にシフトし、家族との面会については施設内に入らない一定の場所で遮へい板を設置し、直接ふれあうことがない方法で面会をしています。色々やりにくい面が多々ありますが、新型コロナウイルス感染症が沈静化するまではこの方式でいきたいと思います。

これからの時期は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の挟み撃ちになってまいります、万全の感染防止対策をした上で、日々明るく、積極的な生活を送っていただけるよう職員一丸となつての努力をしていきます。

さて、羽田長和町長、議会、地域の皆様のご協力によりまして、現在、橋場地区にありますグループホームを旧和田診療所跡地に移転新築をしていただきました。この施設の全権を委任されました依田窪福祉会と致しまして、職員一同、地元の皆様に愛され、信頼される施設「新生 グループホーム和田」のために一層努力してまいりますので、ご指導とご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

また、依田窪福祉会と致しまして、長和町が誕生して以来の懸案事項でありました、上田市社会福祉協議会が運営をしています武石地域のデイサービス事業が、令和3年4月から事業移管されることになりました。

合併当時、依田窪南部三ヶ町村(旧長門町、旧和田村、旧武石村)の社会福祉協議会が事業主体として、それぞれデイサービス・ホームヘルプ事業を展開していましたが、旧長門町、旧和田村につきましては依田窪福祉会に事業移管され、旧武石村につきましては上田市社会福祉協議会が引き続き事業運営をすることになりました。

その後、時の経過と共に諸事情が発生し、依田窪福祉会の武石地域と長和地域の高齢者福祉の拠点施設としての自覚と立ち位置から、平成28年3月以降上田市・上田市社会福祉協議会との協議を重ねてまいりました。ご理解とご協力をいただき、本年4月1日より依田窪福祉会に移管されることになりました。

このことによりまして、長和町、上田市武石地域全ての介護サービス事業が依田窪福祉会に統一され、関係市町のご利用者にとりましても大きなメリットが出てくるものと思われ、この地域の全ての皆様のために職員一丸となつて、協力体制を取りながら事業推進をしてまいります。

今年も皆様にとりまして、幸多き年になりますことを御祈念申し上げます。



ご寄附ありがとうございました。

令和2年10月 ●米 / 堀内 清悟 様

特別養護老人ホーム ともしび



コロナ禍にも負けず!

ともしびでも地域でも、今年度は様々な行事が中止になっています。それでも楽しんで日々を過ごそうと、皆で知恵を出し合いました。

9月21日は敬老会。各ユニット職員が練習に練習を重ねた出し物を披露しました。最後は全員で、ともしび定番のパプリカと花笠音頭を踊りました。新人職員も実習生もいっしょに踊り、ワンチームが実感できた日でした。

長寿の皆様、おめでとうございます!



畑の作物をご利用者もいっしょに収穫。サツマイモに落花生。次は、大根、長ネギを収穫します。



ハロウインはご利用者にはあまり馴染みの無い行事ですが、ちょっと仮装してみたら楽しそう。またいつか、地域の子もたちといっしょに楽しみたいですね。



※ ともしびでは、アクリル板と透明ビニールカーテンで仕切った上での面会を実施しています。何かと不自由ではございますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。また、遠方にお住まいのご家族様には、LINE(ライン)を使った面会をお勧めします。登録をしますので、事前に電話にてお申込みください。

依田窪福祉社会居宅介護支援事業

冬の脱水症に気を付けましょう

「脱水症」は熱中症を伴う夏だけのものではなく、特に子どもや高齢者は、冬にも注意が必要です。体内の水分が不足した時に起きる脱水症は、食事量や水分量が減りがちな高齢者が気を付けなければならない病気です。

外気の乾燥、換気をしないで暖房器具の使用、高温の電気毛布の使用、「トイレに行く回数を減らしたい。」と水分を摂らないことなど、いろいろな要因で下記のような脱水症状のサインが出ます。

- ・手先などの皮膚がカサカサする
- ・口内が粘る
- ・体がだるくなる
- ・めまいや立ち眩みが起こる

また、インフルエンザなどのウイルス感染による嘔吐や下痢、発熱等でも脱水になりやすいので、感染症にも気を付けましょう。

部屋の定期的な換気や、加湿器を適切に使用し、温かい飲み物で冬の脱水症を予防しましょう。



ヘルパーステーションひすもす

身近な存在に…

ヘルパーが訪問しているご利用者の中には、首都圏にご家族が暮らしておられ、お正月やお盆に帰省される方がいます。

今年はコロナ禍になり、帰省されないご家族もいらっしゃる、「もう何ヶ月も顔を見てないなあ」「こんな時期だから仕方ないけど…」と言う声が聞かれ、寂しい思いをされている方もいます。

そんなご利用者のためにお話を伺い、家族のようにはできませんが身近な安心できる存在であり、できる限り不安な思いを解消できるように援助させていただきます。

事業所では、新型コロナウイルス感染症予防対策として、マスク着用、消毒、密を避けることを徹底して、ご利用者に少しでも安心していただけるよう努めています。

今後も、予防対策のご協力をよろしくお願いいたします。



寄り合いからさわ

今年度は新型コロナウイルス感染症関係で外出の機会がとて減り、ご利用者も「たまには出掛けたいね」と話されることも多くなりました。

10月に入り紅葉シーズンになり山々の木々も色づき、県内の新型コロナウイルス感染症も落ち着いて来ていたので10月29日に紅葉のドライブを実施致しました。

向かうは三才山峠方面から安曇野市の穂高神社へ!

当日天気にも恵まれドライブ日和、峠も紅葉がとてきれいで皆さん大満足、穂高神社では新型コロナウイルス感染症予防と健康祈願で参拝しました。また神社敷地内で菊花展を開催しており見学してから食事場所へ!

外食も久しぶりなので皆さん食欲旺盛で、久々の外出でとて喜ばれており、充実した1日になりました。

今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら外出の機会を作って行きたいと思っています。これからも、ご利用者の生きがいとなるような計画をしていきます。



お互いさま

自宅で健康に過ごすために、食生活や運動などの生活習慣に気を配ることは大切であり、周囲の助けがなくとも暮らせることは高齢者にとって自信になります。しかし、生きていけばいつかは身体機能や認知機能の衰えがあり、いずれ誰かの助けが必要となります。その時に**“他人や子どもに迷惑かけたくない”**と考える方は少なくありません。

しかし、「迷惑かけたくない」と言って歯を食いしばり頑張りすぎるより、迷惑かけるのも、かけられるのも**“お互いさま”**が生活の上で当たり前のような気がします。老いは誰にでも訪れます。

老いも若きも**“迷惑はお互いさま”**と思っていれば、地域で暮らしていくことはできます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延で不安になったり、遠方の家族と会えず、心細い思いをされている高齢者の皆さん、ぜひ、**“デイ長門”**をご利用ください。たくさんの笑顔を見てください。たくさん迷惑をかけてください。安心してください。そして一緒に笑いましょう。



丑年うっしっし!

- ⑤ きうき ほかほか温泉に入って
- ① っかり 食べて運動します
- ③ きどき 何でも挑戦やってみよう
- ② あわせ 笑顔のデイ長門



小規模多機能型居宅介護 大門の家

新型コロナウイルス感染症の心配があり、昨年は春先から行事やレクリエーションをどのように行えばいいか、職員みんなで試行錯誤してきました。秋頃より、だんだんどのような対策をすれば安全に楽しく過ごしていただけるかが分かってきたように思います。びくびくしているだけでは愉しくありません。ソーシャルディスタンスをしながら「今日もよく笑ったね」「大門の家に今日遊びに行ってきた」と感じてもらいたいと、ゲームや歌の時間を工夫しています。

また、敬老会やクリスマス会など季節を感じられ

るようなイベントでも、ご利用者が心躍るようなひと時を過ごせるよう、職員一同で頭をひねっています。

「今年こそは美味しいものを食べに行こうね!」とみんなで願い、暖かい春になるのを待つことにします。



秋の運動会にて

▲「火事だー!」と一声。見事鎮火しました。※消防訓練のひとコマです。

グループホーム和田・デイサービスセンター橋場なごみや

そば打ち名人現る!? ～「カラダの記憶」～

認知症の主な症状は、記憶や判断などの知的機能・認知機能の障害です。しかし、一度にすべての機能が失われてしまうわけではありません。

特に、家事や趣味などのご本人がずっと続けてきた馴染みのあることや、印象の大きかったことなどは、カラダが自然に動くほどその人に沁みついているものです。。

ある日

Aさん「昔は自分でそばを打ったりしたんだけどねえ」

職員「外出する機会も減ったし、Aさんのおそば食べたいです!」

Aさん「もうずーっと何年もやってないからできないよ」

職員は諦めません。材料をすべて揃えて準備しました。

もし、できなくてもいいようにyou tubeの動画も用意しました。

ところが…しっかりカラダが覚えていました。



「最高!うんまいわ」



「そばは風邪をひかせちゃいけないよ!」



「やってなくてもできるもんだねえ」

デイサービスセンター和田

芸術の秋 文化祭開催

11月中旬から、デイサービスセンター「和田」の文化祭を開催しました。

毎年、長和町文化祭にご利用者の作品を出展して、文化祭当日には、地域の皆さんや小中学生の皆さん、他事業所の作品を鑑賞していましたが、今年度は施設内にご利用者と職員の作品を展示してじっくりと鑑賞していただける場を設けました。

デイサービスでは、個別のレクリエーションとして様々な取り組みを行っています。そんなレクリエーションの時間を使い、最初は「難しい」と言いながらも、下絵を選んで頂いた塗り絵は、見本以上の完成度。個性的な塗り方で「ピカソよりすごい」作品も。仕上がったものはどれも芸術作品です。文化祭には、絵のほかに、俳句、エコクラフトで編んだ籠、わら細工、木目込みなど一人1点以上を出して頂きました。いつもは歩行訓練に使用する長い廊下が一転

して美術館に様変わり。「私のはどれだっけ…?」
「すごいね。今度挑戦してみようかな。」



人と会って、身体を動かし、話をしたり、考えたり…デイサービスは刺激がたくさんあります。「今日も楽しかったよ」と言って頂けるよう、ご利用者の皆さんができることの可能性を広げていきたいと思えます。

令和3年1月1日

発行者: 社会福祉法人依田窪福祉会 理事長: 渡邊 和美 編集: 広報委員会 所在地: 〒386-0503 長野県上田市下武石776-1
TEL.0268-85-2202 FAX.0268-41-4200 E-mail: info@yodakubofukushikai.jp